

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果の検証

交 付 金 名	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ・地方創生拠点整備タイプ）
交 付 金 事 業 名	三島キャンプ場リニューアル整備事業

1 地方創生として目指す将来像（交付金対象事業の背景）

当町では、今後も人口減少は避けることができないものとしつつも、町の人口ビジョンに掲げた将来展望を着実に達成し、人口減少下においても「持続可能なまち」であり続けることを目指している。この「持続可能なまち」をつくるにあたり、当町のまち・ひと・しごと創生総合戦略では「町への新たな人の流れをつくる」ことを基本目標の一つとして掲げており、その一環として清流四万十川をはじめとする豊かな自然や文化など、当町ならではの魅力を生かした戦略的な交流人口の拡大を図ることとしている。観光を単なる産業で終わらせるのではなく貴重な交流の機会と捉え、一人でも多くの方に当町の魅力を感じていただくことで、地域への経済的な効果はもちろん、その先にある関係人口や移住者数の増加へとつなげる。さらには、こうして生まれた関係をきっかけに、また新たな関係が生まれる好循環を目指す。なお、本事業では、観光産業（アウトドア等）を通じた交流の創出を目指す。

2 地方創生の実現における構造的な課題

当町の美しい自然を生かした観光資源の一つに三島キャンプ場がある。三島キャンプ場は、国選定の文化財である「四万十川流域の景観（重要文化的景観）」の中にある四万十川最大の中州に作られたキャンプ場で、この中州と兩岸はそれぞれ重要文化的景観の重要構成要素である二つの沈下橋によりつながっている。さらに、沈下橋の上にはJR予土線の鉄橋が架かっており、「しまんトロッコ」や「ホビートレイン」などの珍しい列車を見ることができることから、鉄道ファンの撮影スポットとしても人気がある。このように、三島キャンプ場は美しい自然環境とともに、四万十川流域の文化にも触れることができる最高のロケーションとなっている。しかしながら、現在はキャンプ場としての機能しか備えておらず、ゴールデンウィークや夏休みには一定の利用者は確保できているものの、それ以外の期間の利用者は非常に少ない。さらに、宿泊を伴うキャンプは知識や道具の準備など、素人には少しハードルも高く、また天候にも大きく左右されることから、利用者は限られてくる。ただ、この地を訪れ移住を決意した方も実際にいるなど、三島地区が秘めたポテンシャルは高く、それだけに惜しまれる状況となっている。そこで、地域経済への波及効果はもちろんのこと、関係人口や移住者数の増加の基礎となる交流人口を拡大するためにも、いかにしてより多くの方に三島地区に訪れていただくのが重要な課題となっている。また、本施設を十和地域におけるアウトドア観光の拠点として位置づけ、訪れていただくだけでなく、地域住民との交流も交えて、いかに深く当町の文化や魅力を伝えていくのかも併せて重要な課題となっている。

3 交付対象事業の概要

新型コロナウイルスの影響を受けアウトドアや自然を使ったアクティビティの人気の高まっているこの機会に、三島キャンプ場の老朽化に伴う設備の再整備を行う。整備の内容としては、キャンプ場用の施設であるトイレやシャワー室、炊事場などの改修に加え、当町の四季折々の文化や魅力をより深く感じることができる「体験設備」を整備し、体験に必要な備品を準備する。具体的な体験メニューの内容としては、地域住民で組織する団体などと連携して行う郷土料理づくりや季節ごとの特産品を使ったジャムづくり、シイタケの駒打ちや竹ぼうきづくりなど、当町の伝統や文化を感じることができる体験メニューを用意する予定としている。さらには、地元住民に協力をいただき、当該施設の周辺において田植えや菜の花の収穫体験、四万十川でのアユの網投げや火振り漁の見学、ラフティングや河原でのサウナなども同時に開催する予定としている。

4 KPI（重要業績評価指標）と実績値

KPIの内容	単位	当初値	R5	R6	R7	R8	R9
①施設の利用者数	人	1,324	1,324 368	2,263	2,372	2,488	2,612
②体験メニューの利用者数	人	0	0 0	226	237	249	261
③施設の売上金額	円	771,450	771,450 221,502	3,343,040	3,504,910	3,676,400	3,858,520
④今後もこの町と関わりたい人数（アンケート）	人	0	0 0	180	189	199	209

※下段は実績

5 具体的な取組内容及び効果の検証

●三島キャンプ場リニューアル整備事業

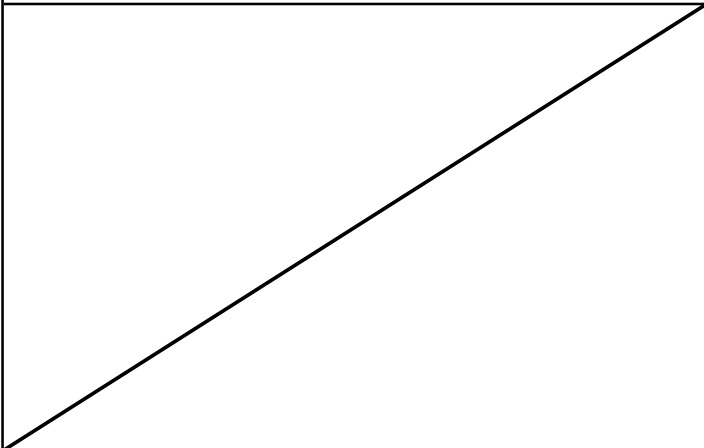
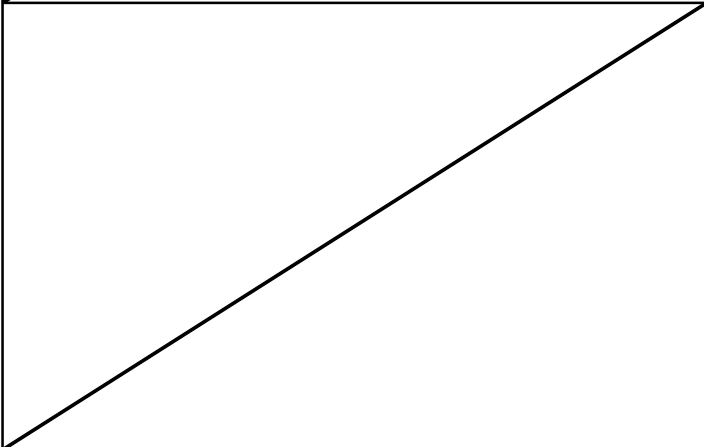
所 管 課	にぎわい創出課（十和地域振興局）																									
事 業 費	162,815,520円																									
交 付 金	80,102,339円																									
取組内容	三島キャンプ場は、平成元年に旧十和村昭和地区に、「住民に健全な保健休養の場を提供し、自然と人との共生を大切にする心をかん養するとともに、地域間の交流を通じて本村の産業、文化、観光の向上に資するため」という目的をもって整備された施設である。毎年、町内外から千人前後の利用があり、町外からの利用者の約半数がリピーターとなっており、毎年本町を訪れる方もいる。このことから、三島キャンプ場が利用者にとって魅力的な場所となっていることが分かる。また、県内でも珍しく両岸に沈下橋がある場所に位置しロケーションもよく、アユ釣りにも絶好の場所である。愛好家が訪れるスポットであり、町内のメインアウトドアアクティビティの一つであるラフティングのスタート地点にもなっていることから四十町十和地域において重要な観光資源の一つとなっている。しかし施設整備から35年が経過し、施設自体も老朽化してきており、また、施設の利用についても、ゴールデンウィークや夏休みが大半であり、それ以外の期間は利用者が非常に少ない状況が続いていた。 そこで今回のリニューアル整備事業として、施設の整備とともに新たに、時季や天候を問わず幅広く多くの方に利用していただくことができるよう、当町の四季折々の文化や魅力をより深く感じることができる「体験設備」としてのビジターセンターを整備した。 整備内容には、キャンプ場のトイレ、シャワー室、炊事場の改修に加え、新たにテントサイト6区画と管理棟を兼ねたビジターセンターの設置が含まれる。また、同施設内にあるバンガローについては、入り口部分のみを修繕し、ビジターセンターには体験に必要な備品も準備された。 ■三島キャンプ場リニューアル整備工事（総工事費：162,815,520円） <table><tr><td>実施設計単価更正委託料：</td><td>484,000円</td><td>工事監理委託料</td><td>： 2,926,000円</td></tr><tr><td>本体工事（建築主体）</td><td>： 96,668,000円</td><td>本体工事（電気設備）</td><td>： 5,918,000円</td></tr><tr><td>本体工事（機械設備）</td><td>： 17,688,000円</td><td>テントサイト整備工事</td><td>： 22,825,000円</td></tr><tr><td>既存建築物撤去工事</td><td>： 1,177,000円</td><td>用地造成工事</td><td>： 1,188,000円</td></tr><tr><td>水道敷設工事</td><td>： 8,877,000円</td><td>ONU移設・Wi-Fi設備移転</td><td>： 149,010円</td></tr><tr><td>備品・消耗品購入</td><td>： 4,915,510円</td><td></td><td></td></tr></table>		実施設計単価更正委託料：	484,000円	工事監理委託料	： 2,926,000円	本体工事（建築主体）	： 96,668,000円	本体工事（電気設備）	： 5,918,000円	本体工事（機械設備）	： 17,688,000円	テントサイト整備工事	： 22,825,000円	既存建築物撤去工事	： 1,177,000円	用地造成工事	： 1,188,000円	水道敷設工事	： 8,877,000円	ONU移設・Wi-Fi設備移転	： 149,010円	備品・消耗品購入	： 4,915,510円		
実施設計単価更正委託料：	484,000円	工事監理委託料	： 2,926,000円																							
本体工事（建築主体）	： 96,668,000円	本体工事（電気設備）	： 5,918,000円																							
本体工事（機械設備）	： 17,688,000円	テントサイト整備工事	： 22,825,000円																							
既存建築物撤去工事	： 1,177,000円	用地造成工事	： 1,188,000円																							
水道敷設工事	： 8,877,000円	ONU移設・Wi-Fi設備移転	： 149,010円																							
備品・消耗品購入	： 4,915,510円																									
効果と検証	■R5年度については、6月下旬から整備工事のため休業。そのため4月～6月までの数値となっている。 ■現時点での状況 ・整備工事が完了し、令和6年3月31日リニューアルオープン。 ■期待される効果 ・利用者数の増加：整備により、キャンプ場の魅力が向上し、利用者数の増加が期待される。 ・利用者満足度の向上：改修されたトイレ、シャワー室、炊事場により利用者の快適性が向上すると予想される。 ・地域体験の充実：新設されたビジターセンターが地域の文化や魅力をより深く体験する場として機能することが期待される。 ■今後の検証計画 ・データ収集：整備後の利用者数や施設の利用状況を定期的に収集する。 ・アンケート調査：利用者からのフィードバックを集め、満足度や改善点を評価する。 ・分析と報告：収集したデータを基に効果を分析し、来年度に効果測定の結果を報告する予定。																									

※交付金の内訳

- デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 1,009,102円
- デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ） 79,093,237円



■ビジターセンター

整備前	整備後
	
	室内 
	
トイレ・シャワー・炊事棟 	

■女子トイレ

整備前	整備後
	

■男子トイレ

整備前	整備後
	

■多目的トイレ

整備前	整備後
	

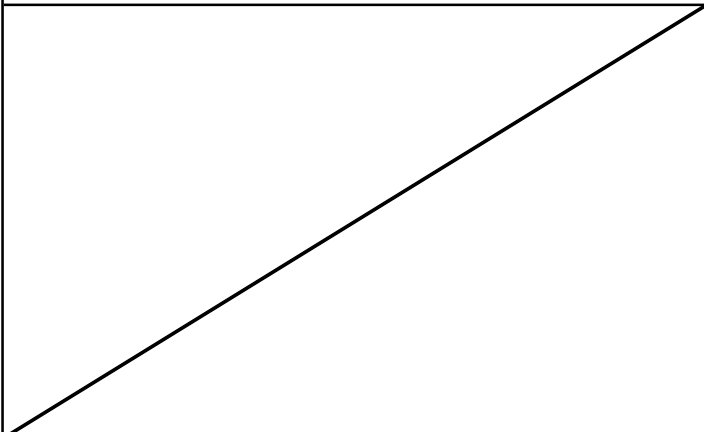
■女子シャワー室

整備前	整備後
	 

■男子シャワー室

整備前	整備後
	 

■炊事棟

整備前	整備後
	
	

■区画テントサイト

整備前	整備後
	
	

■バンガロー

整備前	整備後
	

■体験メニュー

かまどでご飯体験



季節の果物を使ったジャム作り体験



シフォンケーキ作り体験



栗の渋皮煮づくり体験



地元野菜の収穫体験
(収穫後ビジターセンターにて調理)



川舟漕ぎ体験

